

# ニュース学童保育

=私たちの活動 4つの柱=  
\*制度化と指導員の身分保障  
\*専門性と仕事の確立  
\*父母と共に学童保育運動の発展  
\*全国の指導員との団結と連帯

# 川崎の学童保育にも公的補助を

## 川崎市長選挙に向けて

10月31日に行われた川崎市長選挙。選挙に向けた取り組みとして、候補者3名に懇談を申し入れ2名とは実際に懇談することができた。

○市古博一氏との懇談

9月9日、支部の定例会に招き、保護者会運営の学童保育の実態や、補助金の必要性について話



市古氏との懇談の様子。私たちの声に賛同してくれました。

す。市古氏も、川崎の学童保育に自身の子を通わせていることもあり、学童保育の必要性や全児童施策との違いを理解し、政策の中に組み込みたいとのこと。

○福田紀彦氏（現職）との懇談

10月19日、市の担当課が対応することなどで、ことも未来局の課長ら3人と懇談を行うが、毎年5月に行っている対市交渉と大差なく、補助金を出すにあたって営利団体との線引きが難しいという8年前（福田市長初当選時）と変わらない課題を抱えたままの発言もあり、高い壁を感じた。

○川村るみ子氏との懇談

10月26日、学童にきていただき懇談。自身の子がわくわくに通っていたが、ずさんな対

たファイル  
を、各党派  
の議員宛て  
に郵送し、

9月に懇談の申し入れを行った。

自民党議員は保育士や放課後児童支援員の資格を持ち、川崎の学童保育事情に詳しく「わくわく



ちや教師、支援員に定期的な抗体検査をさせることや各家庭に登校日分のマスクを配布することなどを要望した件を共有された。公的補助については、請願書や陳情書を出してはどうかなどのアドバイスをいただいた。  
**がくとーリーが**

川崎の保護者会運営の学童保育施設が集まり、ZOOMを利用したオンライン交流会「がくとーリー」を開催。第2回まで開催しており、施設の紹介や夏休みの過ごし方、特技の披露などを行った。普段覗くことのできない他の施設の様子や規模感、雰囲気などが知れ、子どもたちからは「うちの学童はせまいね」「でもお出かけはいっぱい行ってるよね」「あそこの学童には大きい子が多いね」などなど色々な感想が出た。好評につき第3回も企画。

## 市議員への働きかけ

10月7日、川崎市役所にて自民党と共産党の議員と懇談を実施。

7月末に川崎の学童保育の実態や市への要請内容、保護者の声や要求アンケートの結果をまとめ

プラザはこのままではダメだ」という認識を持っていた。地道な懇談や要請だけではなく、もっとわくわくの欠点を突き、別視点からの働きかけが必要であるとの考えを示す。

共産党議員との懇談では、9月議会子どもた

(川崎学童保育指導員支部 石井 翔子)